



回	実施日	時間	形式	授業のねらい	授業内容	生徒の学習活動	指導上のポイント
2	2月2日	2時限 (50分) 3年1組 3年2組 3年3組	講義	<p>現在GPSは、社会生活において広く使われている。例えば、防災システムでは、災害が発生する恐れのある崖や河川などをGPS機能を搭載した携帯電話のカメラで撮影し、画像データ・位置情報・時間データをあわせて防災本部に送信され、瞬時に対応ができるようになってきている。また今後は、より正確な情報を伝えるための新軌道衛星開拓なども行われ、ますます活用機会が広がっていくと期待されている。</p> <p>この時間では、生徒が社会でのGPSの活用例を学び、グループごとに未来のGPS活用法を検討・提案し、講師を交えながら意見交換を行う。こうした活動を通して、生徒たちが先端技術である測位衛星システム(GPS)を実社会で活用することの意義を実感することを目指す。</p>	<p>「GPSの活用例について理解する」 講師：河野功(JAXA) 支援：塩田真吾(企業教育研究会)</p> <p>①講師より、「JAXAから新しいGPSの活用法を考えてほしいと依頼された」というストーリーを話してもらい、活用法の検討のために今回の授業では現在のGPS活用例について学ぶことを伝える。</p> <p>②路線バスでの活用方法について、ビデオを観る。 ビデオの内容＝ →導入のきっかけと仕組み →システム *ここでビデオを止める。 クイズ1 このシステムが全く使えない場所があります。それはどこでしょうか？ 1. 羽田空港 2. 東京湾アクアライン 3. 新宿</p> <p>③その他の場所での活用方法について、ビデオを流す。 ビデオの内容＝ →自己紹介 →物流システムの話 *ここでビデオを止め、説明を聴く。 →船の位置確認システムの話 *ここでビデオを止め、説明を聴く。 →災害時の活用の話 *ここでビデオを止め、説明を聴く。</p> <p>④新しい活用方法を発表させるため、グループに分かれて準備させる。</p> <p>⑤机間指導をしながら、生徒のアイデアにアドバイスをする。</p> <p>⑥全グループが発表する。1グループの発表に対して、講師より講評をいただく。</p> <p>⑦最後に授業の感想をまとめ、講師に対して質疑応答する。</p>	<p>・GPS活用のアイデアにつなげられるように学習する。</p> <p>・クイズに参加する。</p> <p>・グループに分かれて発表の準備をする。</p>	<p>・自分たちもアイデアを考えるという学習の動機づけさせる。</p>